



# こくろうよなご

第8号

2025年12月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



また、○ご利用目的については、通学3名・買い物3名・観光3名となりました。次に、○駅までの交通手段をお聞きしたところ徒歩6名・自転車2名とな

りました。また、○ご利用目的については、通学3名・買い物3名・観光3名となりました。次に、○駅までの交通手段をお聞きしたところ徒歩6名・自転車2名とな

## 利便性の向上を！

11月13日に行った「木次線を守る統一行動」では、沿線住民の方へのアンケートとして、木次線のご利用状況やJR・国・自治体などへの要望、木次線を取り巻く現状への思いなどをお聞かせ頂きました。ご家庭やお店への飛び込みにより、32名の方から回答を頂きました。以下、アンケートの回答について紹介します。

## 住民アンケート結果より

# 遠巻きに眺めるだけでなく！

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

また、○木次線の利用促進に必要なものとして、列車本数を増やす・観光路線として地元とタイアップする・スピードアップを図る・

他の交通機関とのアクセスを改善するなど回答がありました。

また、○危険される木次線の存続については、廃線されると町の活気がなくなりそうない・普通利用出来るようにしてほしい・学生の為に存続させてほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わる一方で、木次線の必要性を感じないという意見もありました。

そして、○木次線を活性化するためのJR・国・県・市町村への要望では、国に国鉄を希望したい・JRと自治体が一緒になって盛り上げてもらいたい・観光客増の取り組みをお願いしたい・人口増加対策を行ってほしいなど回答がありました。

最後に、その他のご意見として、いいアイデアがあれば聞かせてもらいたい・自治体での取り組みを増やしてもらいたい・駅のバリアフリー化をお願いしたい・都会ばかり人口が増えて田舎は年寄ばかりだ・列車の安定輸送をお願いしたい・バスと鉄道のアクセスを

また、○危険される木次線の存続については、廃線されると町の活気がなくなりそうない・普通利用出来るようにしてほしい・学生の為に存続させてほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わる一方で、木次線の必要性を感じないという意見もありました。

また、○危険される木次線の存続については、廃線されると町の活気がなくなりそうない・普通利用出来るようにしてほしい・学生の為に存続させてほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わる一方で、木次線の必要性を感じないという意見もありました。

また、○危険される木次線の存続については、廃線されると町の活気がなくなりそうない・普通利用出来るようにしてほしい・学生の為に存続させてほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わる一方で、木次線の必要性を感じないという意見もありました。

また、○危険される木次線の存続については、廃線されると町の活気がなくなりそうない・普通利用出来るようにしてほしい・学生の為に存続させてほしいなど、廃線の危機感がひしひしと伝わる一方で、木次線の必要性を感じないという意見もありました。

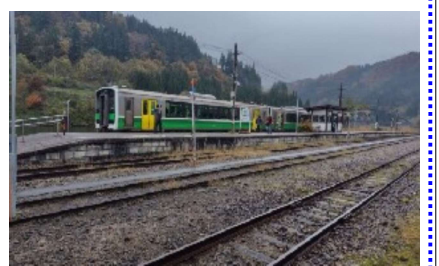


よくしてもらいたい、等寄せられていました。沿線を遠巻きに眺め、勝手にあれこれと思いを巡らせるだけでなく、木次線を身近に感じ、地域住民の皆さんと一緒に、木次線存続のため何が必要なのか、対話し考えあうことの必要性を感じました。

## 細田組合員の「只見線に乗ってきました」PART②

車両は110系(東日本の代表的なローカル線気動車)2両のワンマン列車です。外はあいにくの雨模様でしたが、発車場面でほぼ満席でした。小出駅から途中の只見駅間は地元の高校生の(録音)放送で沿線の見どころや観光地の紹介がありました。

只見駅から会津柳津駅間は金山町、柳津町それぞれの観光協会の方々による観光ガイドと車内販売がありました。勾配のきつい路線なので、途中何回か空転により列車が止まりそうになりました。



小出駅から会津若松駅まで4時間以上乗車しましたが、(16時過ぎには真っ暗になりましたが)紅葉と只見川沿いの景色、楽しい観光ガイド、そして、おいしいお酒も楽しみながら、あっという間に会津若松駅に到着しました。その日は会津若松市内で泊り、次の日は会津鉄道・野岩鉄道(こちらも秘境鉄道)を乗り継ぎ、鬼怒川温泉駅から東武鉄道の特急で東京(浅草)まで帰りました。2日間見どころ満載の秘境鉄道の旅でした。皆さんも機会があれば、是非行ってみてください。



## エンゲージ？なんだ？

最近、会社がよく使う「エンゲージ」という言葉に、何となく違和感を感じている。エンゲージと言えば、結婚する時の「エンゲージリング」しか思いつかないのだが、携帯で調べてみると「従事する・関与する・引きつける・魅了する」などの意味があるとのこと。それだと、会社の伝えたい真意は、「社員との関係をもっと深めたい」みたいになるのだろうか。今年の労働協約の回答にもエンゲージを高める項目として示されたが、「会社とのエンゲージを高めるために、労働環境を改善する」ということか。結局のところ、「労働は一体」だとしても言おうとしているのかとも勘ぐってしまう。一方、「こんなことまで」と思うようなことが「グッジョブ」されたり、表彰されるようにもなっていない。褒められるのは悪いことではないと思いつつ、会社には異論を言えない、心配もあります。